

青年部事業所の各種施策・政策活用事例

商 工 会 名	岡山県 久米郡商工会		青年部員名	勝浦洋平
企 業 名	中央アルミ工業 株式会社		代表者名	勝浦 洋
企 業 概 要	業 種	製造業	設 立 年	1995年1月
			従業員数	5人
補助事業名	ものづくり補助金活用		テーマ区分(選択) 新商品開発・設備投資・広報・新規開拓・その他()	

【施策・政策を活用した経緯】※企業の経営状況、問題・課題等を含め記入

弊社は、家具・装備品製造業で、主に住宅用のアルミサッシ製造を行っており、アルミサッシ業界大手 LIXIL と業務受託契約を締結している。岡山県下の LIXIL の協力工場は弊社を含めて4社と少数であり、商品の短納期対応と将来への安定した売上の確保が経営課題であった。弊社では、加工コストと加工時間の部分が負担となっており、内容によってはコストに見合わず受注を見送ったり、数量限定で受注するなど、大幅な受注機会の損失に繋がっていた。生産能力の向上と加工コストの削減に向けて「ものづくり補助金」の活用を行った。

【主な活用内容、方法等】

近年はアルミサッシ販売店の減少とエンドユーザーへの納期限短縮傾向がある中、安定した供給をメーカーに行うため、加工時間の短縮と加工コストの削減が急務であり、更に高剛性・高精度な製品の生産を可能とし、生産能力の向上を図るため、NC長尺加工機の導入と雇用の拡大を行った。

写 真(3枚程度)

【旧工程(手加工)】



【新工程】



【活用の成果】

旧工程では、納期に間に合わない大量ロットの注文時には、受注を見送ったり数量限定で受注する場合があったが、新規設備として、NC長尺加工機の導入を行ったことにより、導入前と比べ加工時間が半分となり、更に高剛性で高精度な製品が安定して生産できる体制となったため、大量ロット・短納期注文の対応が可能となった。

現在は直接受注も一部行っており、今後は取引があるすべてのアルミサッシ販売店より直接受注が出来る体制を考えている。また、既存取引先に対しては、新規設備を導入したことによる、短納期・高剛性・高精度で安定した品質の商品を提供できることをPRし、販路拡大、事業拡大を行い売上UPに繋げていく。

【活用後の声】

補助金の活用に取り組み、経営計画を作成することにより、弊社の事業内容を一から見直すことができた。その過程の中で弊社の強み・弱みを再認識することができ、課題を明確にすることができた。今後は課題を克服し、新規設備を活用して生産効率を上げることが急務であると考えている。今回の取り組みは、新規設備を導入し生産性が向上しただけではなく、企業理念、会社経営観、将来展望などいろいろなものを得ることができた。